

膠原病友の会

支部10周年記念総会と

医療講演会のお知らせ

すでにお知らせしましたように、今年は友の会北海道支部が結成されて、10年目にあたります。

これまでの総会は、いつも札幌で行なわれていましたが、会員からの強い要望で、大雪山国立公園層雲峡温泉に会場を決定しました。

くわしい内容については、4月下旬頃改めてご案内しますが、今から体調を整えて、ひとりでも多くの方が参加できるように期待して居ります。

ただ、このような会合に出席すると、役員を押しつけられるのではと、不安を抱く方もいらっしゃる様に聞いて居ります。しかし、皆さんもご存知のように、この友の会は、“手伝える人が、手伝える時に手伝う”ことをモットーにして居り、支部長、事務局担当者を除いては、できるだけ多くの方に会運営にたずさわる機会を、持って頂いて居ります。

又、札幌会員の参加が、いつも少くて、地方からの参加者が、っかりさせていますが、場所が変れば、気分も変り……。それぞれの家庭の事情もありましょうが、そこはご主人やお子

様を、なんとか説得して……

マア、あまりしつこい誘い方は、嫌われますが、旭川からの送迎バスを予約してありますので、最低20名の参加者が望めます。昨年、大変好評だった症例を紹介しながらの医療講演会も計画して居ります。

こうしたらいいのではというご意見、ご希望などがありましたら、早目に事務局の方へ、お知らせ下さい。

目にしみるような新緑と雄大な自然が、心身共にあなたをリフレッシュしてくれることと思います。

総会実行委員一同

記

とき 6月5日(土)～6日(日)

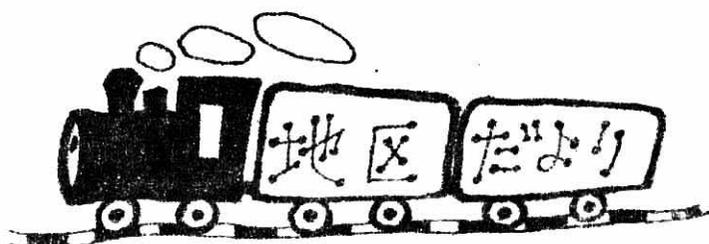
ところ 上川郡上川町字層雲峽ホテル銀河
講演をお願いする先生

北大才2内科 佐川 昭先生

勤医協中央病院 中井 秀紀先生

参加費 宿泊費は6,000円程度の予定ですが旅費その他を予算しておいて下さい。会としての援助については検討中です。





札幌から

去る2月7日に行なわれた新年会は、10名参加の予定が、当日2名の欠席があり、ちよびり寂しい中で始まりましたが、部屋料理などは申し分なく、接待係の方も至れり尽くせりで、楽しいひとときを過ごすことができました。

その時の様子は、参加者の皆さんからの感想で、おわかりいただけると思います。

寒い日が続きましたので、体調をくずさずに出席できるか心配でしたが、ご馳走につられて出て来ました。皆さんとお会いするのは2度目ですが、楽しい昼食会でした。

自分にはない症状などのお話は、こういう会でなければ聞けないものですので、まだ出席した事のない方は、是非次回にはお会いしたいですね。外出する機会のない私には、とても楽しみであり、また自信のつく事でもある訳ですが、決心するまでには時間がかかるのですが……。

でも楽しい一日でした。ありがとうございました。
江別市 T・S

今朝起きてすぐカーテンを開けて外を見る。
雪との天気予報だったので心配だったが、
札幌へ着くと、良い天気になった。

同じ病気をもつ皆さんと、久し振りでお会
いし、話はすぐ病気のこと……

おいしい食事をして、おしゃべりをして、
とても楽しい新年会でした。もっと沢山の
方が参加されたらと思った。

苫小牧市 A・N

8名という少人数の会合だったので、ゆったり
くつろいで時を過ごせたように思います。

話の内容も様々で、やはりこの病気は、ひと口
には言い尽くせないものであるなと思いました。

あったかっいお部屋、たくさんの食べ物
さし込む陽差しで、まぶしい2時間でした。

雪まつりの人もたくさん出てることでしょう。
楽しかったですね。

札幌市 Y・S



ちょっと時期はずれの新年会に、出席しました。当日は、連日続いていた雪も、からっと晴れ上がり、青空が見えて、陽の光が部屋の中に差し込み、なごやかな雰囲気の中で、楽しいひとときを過ごすことが、できました。

いつものことながら、8名の参加とちょっと寂しい感じでしたが、その割に料理だけは食べきれず、皆でお土産に持って帰りました。

ただ今回強く感じた事ですが、よくお手紙、お電話などで、「お手伝い出来なくて申し訳ない」という様な内容の言葉を耳にしますが、友の会の仕事をお手伝い出来る、出来ないは別として、こういう会に出席してこそ、活動そのものと言えると思うのです。年に1~2度の集まりなのですから、できれば是非、元気な顔を見せて頂きたいものです。 札幌市 T・K



特定疾患医療受給者証の更新手続は、お済みですか？

まだの方は3月31日で期限切れとなりますので、大至急手続なさって下さい。

手続の仕方がよくわからない方は、保健所へお問い合わせ下さい。

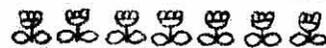
出席人数が8名と予想外であった。やはり2月という時期で、寒いせいだったからか……来年はもう少し大勢参加してほしい。

私が今年始めて新年会に参加して感じた事は……上記の点と、ただ食べて、飲んで、雑談だけではなく、時間を延長してゲーム、カラオケ大会などをやってみては……ちょっと無理かな

なるべく大勢参加できるように、場所、費用、時期を考えよう。郵便貯全会館は、食事の量も多く味もマアマアで、接待係の人の感じもとても良かった。

札幌市 K・T

追伸 皆さん、ご苦労様でした。とても楽しかったです。又、今度お会いしましょう。



ちよっと

「ちよっと」

どうやら寒さの峠は越したようです。とは言っても油断禁物！風邪は万病のもとです。外出後のうがい、手洗いは忘れずに。そして栄養とバランスのとれた食事でもうひと踏ん張り……。この冬を完全に乗り切って楽しい春を迎えましょう。

旭川から

清野 和子

今日ワ

寒さ厳しい旭川も2月以来、ずっと暖かい日が多くなり、ホツとしています。-25℃というのは私にとって初めての体験。でもそれに慣れてしまうと、-15℃なんて寒く感じなくなるからおかしなものですわ。

旭川地区では12月に私の家に5人集まって冬へ向っての戦術体制を話し合ったり、皆の調子を確認あったりで、ペチャペチャとおしゃべりしました。皆、調子が良く、つけ物を漬けた話や、本州への旅行の話など、とても病人とは思えない生活の様子でした。

1月には、急に寒い旭川まで遊びに来た長谷川さんを変えて、市内某所で新年会を兼ねて集まりましたが、調子が悪かったり、都合がつかなかったりで計5人。ところが、長谷川さんと私が遅れて会場に着くと、中の3人の声がまるで10人位居る様に外まで聞こえてくるので、部屋を間違えたのでは……と疑う程にぎやかなのです。長谷川さんから、友の会の状況を聞いたり、疑問に答えてもらった

りで、いつも私達だけで集まっているよりは、若干格調の高い話をした様に思います。

今度は一緒にケーキを作ったり、パンを焼いたりしてみようかという話も出ています。

6月の層雲峡の全道集会も地元ということでニギニギしく参加しましょうということで散会しました。

というわけで段々と親しみを増してきています。旭川パワーに乞うご期待!!

ホームドクター(朝日新聞社発行)3月号は、特集「膠原病の最新情報」と題して、治療法を中心に、体験記、医療費と障害年金、十年経った友の会のことなども、掲載されています。興味のある方は、お近くの書店でお買い求め下さい。定価は400円です。

映画のご紹介

いのち
この生命 誰のもの

WHOSE LIFE IS IT ANYWAY?

MGM映画

先日K嬢と試写会へ行ってきました。
その感動を、是非皆さんにも伝えたく
ここにご紹介します。



将来を囑望されていた若い彫刻家が、突然の交通事故
で首から下の肉体的機能を奪われてしまう。ショックと
絶望が恐怖の悪魔となって、彼を突き刺す。肉体的には
植物人間だが、頭脳のみが正常な機能を持つという状態
のまさに生き地獄であった……。

こんなふうに言うと、ひどく重苦しいシーンを想像さ
れるかもしれませんが、しかしそこはアメリカ人の国民
性というのでしょうか、ユーモアとウイットに富んだ会
話のやりとりが、観る者をホッとさせます。

苦悩と孤独と絶望の中にあつて、主人公の冷静な知性は、やがてある結論を導き出す。「自分の生き方は自分で決める!」即ちそれは「死=自殺」を意味していた。彼は言う。“自分の生命は芸術活動と共に有り、今後肉体の機能が回復しない以上、自分は既に死んでいる。医学的に生を継続させるのは、個人から生死の選択の自由を奪う残酷以外の何ものでもない。”

悲痛な魂の叫びであつた。だが彼の治療に当っている医師の同意を得られるはずはなかつた。遂に彼は“法”を介入させて権利を獲得しようとする。

私には愛をつかむ手がない!
私には夢を追う足がない!

人間の尊厳を求め、人間の基本的な在り方を訴える大変重厚なテーマでありながら、彼をとりまく医療スタッフのやさしさ、暖かさ(とりわけ黒人雑役夫がすばらしい)に心がなごみます。又、なによりも羨しいと感じたのは、患者が医師と全く対等の立場で、あれだけモノを言えるということ……
全く“知は力なり”です。

映画館まで足を運ぶ価値は絶対にありますゾ!

3月下旬より札幌SY遊楽で公開予定です。

おたよりコーナー

いちばんぼし、届きました

(S56.12.10発行号)

大阪府枚方市
松村 文子

見事な出来に多く、感心しました。特に具体的な事例で書かれた事、本当に身近かに思え、成功だったと思います。一人の人間の生き方が、そこに現われている様で、思わず涙ホロリでした。病気が段々解明され、生存率が高くなればなる程、かかえる問題は本当に多いのですね。とても参考になりました。

小寺千明さんの訴えが 身につまされる思いで一緒に叫びたいです。あらゆる先生方に聞かせてあげたいです。

まだまだ寒さ厳しい折(いつも「北の国から」のテレビを見て寒そうだなと思っています)くれぐれもお身体大切に頑張ってくださいね。(昨年の暮れに届いたものです)



前略

室蘭市 Y・Y

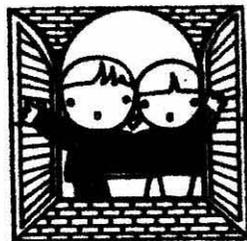
寒さきびしい毎日が続いて居りますが、皆様お元気でしょうか。今日『いちばんぼし』受取りました。ありがとうございました。一番楽しみにして居ります。

何んのお手伝いも出来ず申し訳ございません。私もお陰様で一人暮らしにも馴れ、どうにか家の中の仕事は何んでも出来ますよ。ただ買い物は重いものはやはりこたえますね。

お前が元気にならないと死んでも死にきれないと、口癖のように言っていた最愛の父が12月18日に亡くなり、父を失った淋しさは、口では云いあらわす事は出来ません。(中略)

一人でいる事の方が多いので、札幌まで遊びに行きますので、一度お寄りしたく思っています。私の元気な姿を見て下さいね。

(1月27日に届いたものです)



拜啓

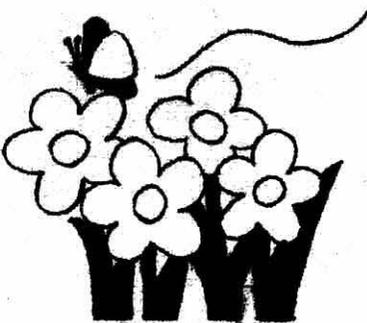
御無沙汰して居りますが、皆様おかげんいかがですか。早々に年賀状、いちばんほしありがとうございます。返事も書かないで、いつも御奉仕感謝して居ります。返事も書かないで、ごめんなさい。私は今、手と足がちよっと冷たいのを除けば至って元気で、二週間に一度の病院通いも、あまり苦になりません。

寒さもまだまだ厳しいです。皆様もお身体を大切にしてください。お祈りして居ります。まずは近況まで。

かしこ

函館市

K・K



ちょっと手前味噌ですが

先日の難病連理事研修会のテーマは、「機関紙の作り方」でした。講師は、機関紙印刷の方で、云わば本作りの専門家です。「難連の事務所で全団体の機関紙を見せてもらいましたが、この『いちばんばし』の表紙のデザインがとてもすっきりしていていいですね。

季節に合った詩、そして内容にふさわしいカット、読んでみようという気持ちを起こさせます。どんなに良い事が書かれていても、読んでもらわなければ、なんにもなりません。それに感心したのは、この機関紙から『ひとりの喜びを、皆のものとして分ち合おうという心くばり』が感じられることです」という講師の方の言葉を聞きながら、私の目に思わず熱いものがこみあげてきました。思えば機関紙を作って10年、最初は、恥しい程稚拙なものでしたのに、専門家にお賞めを頂くようなものになったこと、ただただ嬉しく、これもひとえに会員の皆さんの暖い励ましがあればこそと心から感謝して居ります。(7)

事務局からのお知らせ

◎新入会員です

・真木 和子 (SLE,)

札幌市白石区

・佐々木 由紀子 (SLE,)

勇払郡追分町

よろしくお願い致します

◎住所変更です

・小杉 真由美

札幌市中央区

熊谷 俊子方

他に住所変更された方は、事務局までお知らせ下さい。

◎会費納入についてのお願い

昭和56年度の会費未納の方、振替用紙を同封致しましたので、振込よろしくお願ひします。

あなたの会費は

昭和 年 月で切れていますので

振込お願ひします

編集人 全国膠原病会の会北海道支部
札幌市中央区大通西9丁目 協栄生命ビル9階
北海道難病連内 ☎060 ☎(011)261-8026

発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会
札幌市中央区北1条東4丁目 本間 武司

昭和48年1月13日第3種郵便物認可 HSK通巻119号 料100
いちばんぼし№42 昭和57年3月10日発行 (毎月1回10日発行)
